

YOUR VOICE, OUR MISSION!

生徒会執行部と校長先生の座談会



他校の生徒会執行部と交流をする様子@nobinos



12月にnobinosで開かれた生徒会交流会で学校紹介をする執行部の皆さん

生徒会交流会を終えて

1月12日（金）放課後 校長室にて

岩戸会長：

先日のリーダー研修会の報告をします。まずはお互いの学校の紹介をしました。その後に役職ごとに集まって与えられたお題について話し合いました。最後に、各グループで話した内容を全体で交流しました。個人的には他校では先生との交流を深めるイベントも行われていると聞いたことが印象的でした。例えば、巽中学校の「巽フェスティバル」は先生も入れたカラオケ大会をするそうです。

全員：（笑）

岩戸会長：

先生に関しては、みんな共通して知っていることなので、それをもっと取り入れていってもおもしろいかなと思いました。

日高校長：

役職ごとに別々のお題が与えられたの？おもしろいね。

岩戸会長：

はい。会長はイベントについて話しました。

小畑副会長：

副会長はオリエンテーションについて話をしました。海中にないこととかもいっぱいあったし、聞くだけでも刺激がありました。オリエンテーションもやる側とみる側の景色は違うなと感じました。

西崎書記長：

書記は全員が目を通してくれる生徒会新聞について話をしました。他の学校ではオリジナルキャラクターを作っていたり、4コマ漫画を作ったりしていました。カラーペンの活用や字体の工夫などについても聞き、自分たちもこれから取り入れたいなと思いました。

日高校長：

他校の取組をいろいろ聞いて、自分たちはこれからどうしていくかだね？

小畑副会長：

全体的に交流とかを増やしていきたいと思っています

これから取り組んでみたいこと…

す。公約にもあるのですが、3年生に対する感謝祭の実行に向けていろいろ取り入れていきたいと思っています。

日高校長：

3年生に向けての感謝祭はやっているところはあった？

岩戸会長：

最後に感謝の言葉を伝えるということをやっているところはありました。

小畑副会長：

部活動の大会前に意気込みを全校生徒に伝えることもやっているところがありました。

日高校長：

大会に出場する部を送り出し、みんなで応援するというのは聞いたことがあるね。

中貝先生：

高校でいうところの壮行会ですね。

日高校長：

他校の執行部のメンバーの印象はどうだった？

岩戸会長：

みんな話しやすかったです。自分は結構緊張していたんですけど、声をかけてくれる人が多くて、片付けなどもスムーズに楽しみながらできました。

日高会長：

最後の交流の場面の写真を見ると、岩戸さんが発表してた。あれは代表として報告してたの？

岩戸会長：

時間も限られている中なので、役割分担をして発表することにしました。

小畑副会長：

交流するときに、グループで役割分担をしたので

すが、司会者になって大変緊張しました。どう進めたらいいのかわからなくて…。でも、他校の子たちがいろいろ意見を出してくれたのでスムーズに進行できました。

日高校長：

横をうかがうような目つきの写真が残ってたよね。

全員：（笑）

日高校長：

そんな経験はなかなかできないよね。自分の学校でも司会とかするのは緊張するよね。

西崎書記長：

自分のグループでは全員がそれぞれの役割をもって、何もしない人はいなかったし、はじめてかかわるとかも関係なく、みんなで協力できたのが良かったと思います。

日高校長：

なるほど。すばらしく優等生な回答だ。もう新聞になりそう。

全員：（笑）

箕嶋書記次長：

私はあまり緊張しませんでした。全員女子だったというのもあったのですが、みんな意見を言ったらしっかりとあいづちやリアクションをしてくれたし、意見をまとめるときに、こう言ったらいいんじゃない？という感じで積極的に言ってくれるので助かった部分がありました。

日高校長：

女子率高かったよね？ 女性が力を持った時代かなあ…（笑） 男子がいた学校はど

生徒会 “Restart” の年

YOUR VOICE, OUR MISSION!

れくらいあった？

岩戸会長：
副会長を男子と女子でやっているところもありました。

日高校長：
もともとそういう設定だったのかな？知っている人とかはいた？

全員： いなかったです。初対面でした。

日高校長：
学校同士の集まりって年に1回しかないけど、それについてはどう思う？

小畑副会長：
執行部のメンバーになったばかりで経験があまりなかったの、交流はできたけれど話し合いが浅くなってしまった部分もありました。もっと慣れてきていろんな取組をした後に、もう一回こういう交流とかがあればもっと話が深まるのかなと思いました。

日高校長：
だよ。まわりからいろんなアイデアをもらって、実際自分とこでもやってみましたということを交流できれば、ここをもっとこうしたらいいねという話になるよね。これ成功したわ、これ失敗したわ、みたいな話になってもいいのになって思うよね。せっかくオンラインでつながれるようになったので、わざわざ集まるのは大変やけど、オンラインで連絡とりあえばいいよね。この中学校の、これをやってみたいというのはある？

西崎書記長：
東海南中学校であずまんという4コマ漫画を作っていると聞いて、海南中学校でも作りたいと思いました。

日高校長： なんかもうアイデアはある？

西崎書記長：
新入生が入学して初めてみる生徒会新聞で、緊張をほぐせるような、先輩たちやさしいよみたいな4コマ漫画を作りたいと思っています。

日高校長：先輩たちはやさしい体にするんだね。

全員： (笑)

日高校長：
なるほど。それなんかも発信できたらいいよね。例えば…交流会の様子を4コマ漫画にして、海南中学校が感じた交流会の様子を他校に向けて発信したりとか。そういうこともできそうだよ。もし可能だったら、作ってみたいらどうかしら？

岩戸会長：
やっぱり、たつみフェスティバルは誰に聞いても思い出に残っている、楽しかったと聞くので、そういうみんなの思い出に残ることをやってみたいと思います。大規模なイベントをやってみたいです。

日高校長：
結構準備というか企画段階で練っていかないといけないよね。コロナの間でまったくそういうのがストップしてしまっているから…エネルギーがいることだけど、やりがいもあるよね。いいじゃないですか。是非やってみてください。やり始める人がおもしろいと思う。去年やっていたことがあれば、つい踏襲してしまいがちになるけど、全国的にみるとやっているところも多いのでは？

小畑副会長
コロナ前には合唱祭とかがあったと兄たちから聞いています。クラスごとに練習して発表するのは感動する、泣いている3年生がいたとか聞いています。それも復活できたらいいなと思っています。それを文化祭に組み入れてもいいかなと思っています。

日高校長： 音楽フェスティバルはどうだった？

小畑副会長：
自分たちで決めた曲ではなかったという点や教科書の歌であまりなじみがなかったというところで少し物足りなさがありました。自分たちで歌う曲を決めて自分たちで目標をもって練習するということに意義があると思うので…。

日高校長：
企画する段階から自分たちの考えが入っていて、もっと練習を積んで…という思いがあるのかな。

岩戸会長：
練習期間がもっとあれば良かったです。

日高校長：
正直…前日はどうなるかという不安があったけど、当日は緊張感もあり、口の開け方も全然違った。やっぱり気持ちが入るといのは人をこんなに変わるんだなあと。見ている側からすると、すごく感動する歌、様子であったと思う。でも、さらにもっと！ということなんだよね？フェスティバルにしても合唱にしても、するとなるとすごく時間がかかる。もし、するのだとすれば、早い段階で提案をして、それにつぎ込める時間を確保していかないと大変だね。

岩戸会長：
感謝祭で何をするか悩んでいます。3年生に感動してもらえそうなことがしたいです。いい案があれば教えてほしいです。

日高校長：
案になるかどうかはわからないけれど、卒業生を送り出すときの考え方とすると、基本的に3年生にみてもらうとなったときに、見せる側が主役にならないよという意識をもっておかないといけないと思う。やっている側が自分たちが楽しいではいけない。見てる側が置いてけぼりになってしまわないように。会長が言ったように、3年生が喜んでくれるようにという思いが絶対念頭にあって、そのために自分に何ができるかという気持ちが必要。そこがぶれなければ相手に伝わる。考えすぎずに。たとえ簡素なものであっても、そこに思いがしっかりとあれば思いは必ず伝わる。中身を凝らす必要はない。君たちなら大丈夫だ。でも、そのための時間を捻出するのは大変。例えば今2年生が取り組んでいることをうまくアレンジして発表してもいいのでは？時間に追われてしまっはいけない。上手にアイデアをしばって。1年生も巻き込むならアウトラインだけでも伝えておかねば。それと、この前提案してくれたこともあったよね？



朝の挨拶運動「わくにこ Say Hello!」

岩戸会長：
はい。来週から「わくにこ Say Hello!」(朝の挨拶運動)と並行して石川県の震災の募金活動もします。

日高校長：
無理のない範囲でね。今回、自分自身こういう機会をもってもらったのは初めてで、生徒会の交流会が開かれたのも何年かぶりになる。君たちはいわゆる新型コロナウイルスが5類になった後のリスタートの学年になる。過去にはあったことも一旦白紙になって君たちから始まるということがたくさんある。遠慮せずにどんどんアイデアを出してやっていったらいいと思う。今、各委員会が「わくわくアッププロジェクト」としていろんな取組をしてくれている。今後は、執行部がこんなイベントをやりたいということを他の委員会とコラボするなど、他の委員会とのつながりも増やして行ってほしい。時間的な制約もあると思うけど、せっかく執行部のメンバーとなったのだから、その立場を最大限活用して海南中学校をより良い学校にしていってください。期待しています。本日はありがとうございました。

全員： ありがとうございます！！



生徒会主催「テストお疲れ様Day!」



生徒会による石川県能登半島地震被災地支援のための募金活動

- 【座談会メンバー】
- 日高校長先生
 - 中貝先生
 - 生徒会執行部
 - 会長 岩戸 結愛
 - 副会長 小畑 咲侑
 - 書記長 西崎 衣留美
 - 書記次長 箕嶋 優来